

研究成果有体物移転契約書

国立研究開発法人理化学研究所（甲）と_____（乙）は、研究成果有体物（名称：_____）の移転に関し、以下の通り合意する。

記

1. 上記の研究成果有体物は、甲の所有物であり、乙の行う_____研究のために本研究成果有体物を無償で提供する。
2. (a) 乙は、本研究成果有体物を、上記1に述べた研究目的のためにのみ、かつ教育又は非商業目的の研究にのみ使用する。
(b) 乙は、本研究成果有体物を、人間を被験者とするものに使用しない。
(c) 乙は、甲から本研究試料成果有体物の取扱（研究終了時の措置を含む。）について条件が設定されている場合には、当該条件を遵守する。
(d) 乙は、関係法令及び規則に従い、本研究成果有体物を適切に取り扱う。
3. 乙は、甲の書面による承諾なしに、本研究成果有体物を第三者に移転しない。
4. 乙は、本研究成果有体物を用いた上記1の研究で得られた成果を、学会その他外部に発表する場合には、本研究成果有体物の出所について記すとともに、甲に当該発表物1部を送付する。
5. 本研究成果有体物の取扱の結果生じるいかなる事象に関しても、乙は甲に対し一切の損害賠償等を請求しない。
6. 乙は、本研究成果有体物を用いた研究成果を発表する際には、ナショナルバイオリソースプロジェクトの援助をうけて、甲から提供を受けたことを明示する。
7. 乙は、本研究成果有体物を用いた研究成果を発表する際には、作製者（_____と岡本仁）に謝辞を表し、以下の論文を引用する。

本覚書締結の証として本書2通を作成し、甲乙署名又は記名捺印の上、各1通を保有するものとする。

年 月 日

甲：埼玉県和光市広沢2-1

国立研究開発法人理化学研究所

脳神経科学研究センター 研究基盤開発部門長 上口 裕之

印

理研名誉研究員、客員主管研究員 岡本 仁

印

年 月 日

乙：（住所）

（機関名）

（機関における契約締結権限者の役職・氏名）

印

（研究成果有体物を使用する研究責任者の役職・氏名）

印